



9月定例会報告

子育てや建築コスト上昇の課題が

9月定例会では補正予算を含め28議案が提案され、少数の反対があつた以外、賛成多数で可決されました。私は全議案に賛成で討論を行いました。

補正予算と決算議案以外で主な内容は、子ども子育て新法施行に伴う保育事業に関する条例

2本と学童保育に関する条例1本、中学校給食センター設置に伴う食器の購入と工事請負費の変更などです。

そのほか、教育に関する請願が4件あり、採択され意見書として国に提出されました。他には、特定秘密保護法に関する請願、集団的自衛権に関する請

給食センター建築では、鉄筋工事で14.7%、型枠工事で21.6%、鉄骨工事で12.6%の資材の上昇があり、労務単価で平均7%の上昇と合わせ、合計で約3千8百万円増となっています。

マネジメントが重要

津市でも大規模なスポーツ施設の建設にあたって入札不調になっています。東北の復興や大都市圏での開発、三重県でも国体に向けて施設改修がい

建築の課題が表に

9月定例会の補正予算から、やはり建築関連の資材と労務単価の上昇の課題が、自治体の運営に影響を与えることがはつきりしました。

補正予算では学校つり天井改修、議案第41号では新給食センター建築に関して、それぞれ当初予算よりも増額の提案が執行部からされました。

定数削減の請願と現在の状況について

私は市議会議員定数を削減で見直すべきという考えです。理由は市全体の財政面と議会改革の観点からです。

たとえば、中学校給食実施には年間3億円近くお金が必要に

新給食センターについて

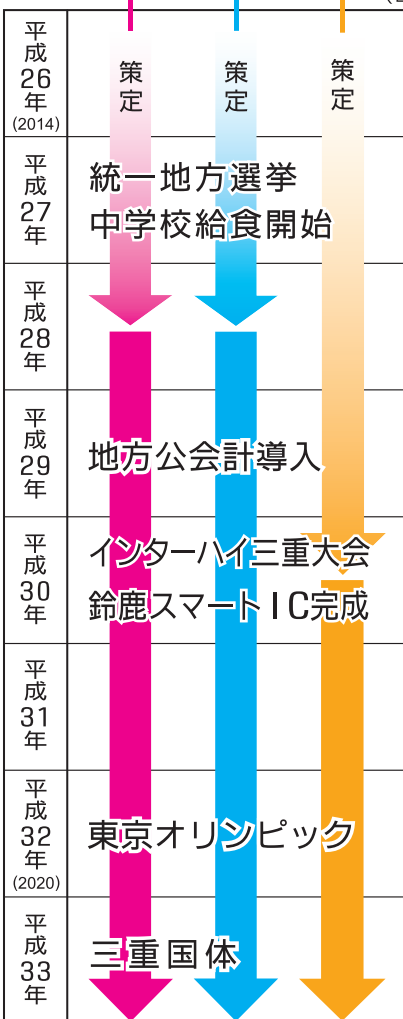
- 給食センター建設 … 約20億円
 - センター用地代 … 約1.3億円
 - 各中学校の整備費 … 約4.4億円
 - 年間運営費
業務委託+維持管理費(光熱水費など) … 約3億円
- ※運営費には、滞納給食費の徴収などのコストは入っていません。

鈴鹿の将来に向けた計画策定が重なる重要な時期なんです

次期中長期計画(計画期間8年)

都市マスタープラン(計画10年)

地域包括ケアシステム(2025年を目途)



- 関連する計画など■
- 水道老朽管更新計画
 - 公共施設マネジメント
 - 市総合雨水対策基本計画
 - 市舗装維持管理計画
 - 地域づくり・住民自治
 - 地区別防災計画
 - …などが動いています

少子化と高齢化、人口減少の課題に直面しています。日本全体で1年間に鈴鹿の人口と同じだけの人が減っています。これらの課題は短期的に解消する処方箋がないもので、税収の減少と社会保障費の増大の可能性を

大きくはらんでいます。この中で高齢化は、「人の高齢化」、「施設やインフラなどの高齢化(老朽化)」から考えることが大切です。これらの課題を整理する考えを、市政の指針

鈴鹿の流れだけでなく、国や世界の状況など社会の大きな流れも、私たちの生活に影響があります。

求められるものは

いま鈴鹿市で求められているのは、目の前の課題といろいろな計画をつなげ、将来に責任のある議論をする政治です。

反省もあります

1期目に比べ議会報告を発行できていないことが反省点です。一方、2期目に入り常任委員会委員長を経験、1期目以上に他の自治体議員の方々と交流することで、議員として研さんを積んだことを実感しています。

質問や討論を毎定例会で行い、今年から委員会や本会議でもパソコンの使用ができるようになり、メモなどにも活用しています。ので、文書について毎回けっこうな量になっています。

SNSがポイント

写真は、佐賀県武雄市に視察に行った際のもので、左側は樋渡市長、右側は代田教育監(当時)です。今、お二人とはフェイスブックでの友達となっていますが、先進的活動をほぼリアルタイムで知ることが出来ます。このようになつたりは、議員活動にとっても重要になっていると実感しています。



実は樋渡市長に後ろからくすぐられています。視察の際に直接説明を頂いたのですが、やはり先進的な方は違います。



つれづれな つぶやき